

## 平成29年度 事業報告

平成29年度の熊野市シルバー人材センターの事業運営につきましては、センターの「自主・自立、共働・共助」の理念の基、高齢者がいつまでも「生涯現役」として地域社会の活力を支える担い手となり、元気に活動していくことを目指すとともに、ボランティア活動の実践など地域貢献事業を推進し、「高齢者の生きがいの充実と福祉の増進」、「活力ある地域社会づくりの実現」に向けて、会員、役員、職員が一丸となってこの1年間活動を進めてまいりました。

センターの事業については事業運営委員会を設置し、組織の健全化を図るために、会員の拡大及び就業機会の開拓・拡大等についての検討を行うとともに、安全・適正就業では会員に対し、年間を通じて事故ゼロを目指し、安全就業チェックリストを活用するなどして、その徹底を図りながら会員の意識向上につながるよう取り組みました。

就業機会の拡大・開拓では、請負件数において新規分が全体の約1割を占めており、センターの果たす役割の大きさが表れています。

また、会員数におきましては全国的に減少する中、29年度は5名の増加となっています。

センターの運営については限られた財源の中で、事務の効率化と経費の削減等を図り、健全な財政運営に努めました。

さらに、当センターは平成30年度に法人設立10年の記念の節目にあたることから、法人設立10年記念事業を開催するための運営委員会を設置し、シルバー人材センターの存在を再認識し、更なるセンターの充実と拡大を図るとともに、センターの活動を地域にアピールし、会員の増強と就労の場の拡大につなげることを目的とした、その企画及び実施について計画いたしました。

平成29年度に実施した主な事業と概要は、次のとおりです。

### 1 組織運営について

#### (1) 理事会の開催

29年度は理事会を6回開催し、センターの活動内容、状況等を十分に把握するとともに業務執行の決定等にあたりました。

	開催日	協議内容
第1回理事会	5月9日	① 平成28年度事業報告について ② 平成28年度収支決算について 監査報告 ③ 平成29年度定時総会について ④ 特定費用準備資金等取扱規程(案)の設置について

	開催日	協議内容
第2回理事会	5月20日	① 理事長・副理事長・常務理事の選任について
第3回理事会	6月27日	① 法人設立10周年記念事業の実施と実行委員会の設置について ② 年間活動計画について ③ 事業運営委員会の設置について ④ 安全就業について
第4回理事会	9月21日	① 平成29年度収支補正予算(第1号)について ② 平成29年度三重県シルバーの日の取り組みについて
第5回理事会	12月14日	① 平成29年度シルバー福祉・家事援助サービス月間の取り組みについて ② 交通安全講習会の実施について ③ 平成30年度市への予算要求について ④ 法人設立記念事業について ⑤ 会費の引き上げについて ⑥ 賠償保険における免責分の負担について
第6回理事会	3月22日	① 特定費用準備資金の保有の承認について ② 平成29年度第2次収支補正予算(案)の承認について ③ 平成30年度事業計(案)の承認について ④ 平成30年度収支予算(案)の承認について ⑤ 会費規程の一部改正の承認について ⑥ 損害賠償保険に係る免責額の自己負担の承認について ⑦ 平成30年度定時総会招集の決定について

(2) 定時総会の開催

開催日	場所	内容
5月20日	熊野市林業会館	報告事項 ① 平成28年度収支補正予算について ② 平成29年度事業計画について ③ 平成29年度収支予算について 議 事 ① 定款の変更について ② 役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について

		③ 平成 28 年度事業報告について 監査報告 ④ 平成 28 年度収支決算報告について ⑤ 役員の選任について
--	--	---

### (3) 事業運営委員会の設置

シルバー人材センター事業の迅速な実務処理、就業拡大、魅力あるセンター及び組織の健全化と信頼性を高めていくために委員 8 名からなる事業運営委員会を設置し、今年度は 2 回開催しました。

委員会では、理事会からの付託案件や、会員拡大、就業拡大等について検討を行い、理事会に報告することとしています。

委員	選出区分	委員	選出区分
喜田 裕一郎	理事	山口 英子	会員
小川 雅司	理事	湊 きくよ	会員
西垣内 勝	会員	阪口 任紀	事務局
岡田 住夫	会員	水上 敦子	事務局

#### ○第 1 回事業運営委員会

- 日 時 平成 29 年 10 月 17 日（水）午後 3 時から  
 場 所 シルバー人材センター事務所  
 内 容 ・会員の拡大について  
 ・就業拡大について  
 ・日常生活支援のための短時間仕事の開拓について  
 ・センターの活力強化について

#### ○第 2 回事業運営委員会

- 日 時 平成 30 年 3 月 13 日（金）午後 1 時から  
 場 所 シルバー人材センター事務所  
 内 容 ・第 1 回委員会結果について  
 ・会員拡大・就業機会の拡大について  
 ・自主事業による会員及び就業の拡大について  
 ・魅力あるセンターづくりについて

#### 〈検証と課題〉

理事会のさらなる充実を目指して、引き続き理事会を定期的で開催し、センター全体の状況を把握しながら、的確な情報の収集とセンターの現状把握の上に立った業務執行の決定等に当たることができるように運営していく必要があります。

定時総会においては、多くの会員が出席できるよう工夫していく必要があります。

## 2 組織体制の強化について

### (1) 地域班の設置

会員の自主的、自発的な活動さらには会員のセンター運営への参画意識や相互の連帯感を高めるため、29年度は、未設置地区であった有馬地区の地域班を設置しました。

#### ○各地域班役員一覧

地区名	班長	副 班 長		
久生屋・金山	今西 速男	門 拓	山田 認	
五郷・飛鳥	井上 修	谷口 秀実		
木 本	小川 雅司	岡 禮 一	中村 孝子	
井 戸	松田 攻	平野 すみ代	西 賢二	
有 馬	岡田 住夫	鈴木 武	小山 理	湊 良孝

#### 〈検証と課題〉

会員からの意見や提言等を直接聞き、事務局と情報を共有しながら、シルバー人材センターの運営に活かしていくことができるよう、各地域班との意見交換会を定期的を開催していく必要があります。

## 3 会員の状況等について

平成30年3月末現在の会員数は106名で、年度内に加入した会員は18名、退会した会員は13名で、全体の会員数を昨年当初と比較すると5名の増加でした。

入会した18名の会員の理由につきましては、経済的理由7名、健康維持・増進6名、生きがい・社会参加4名、その他1名でした。

また、退会した13名の会員の理由につきましては、死亡による者1名、病気等の健康上の理由による者が4名、他で就業が1名、加齢による者が1名、その他の者が6名となっています。

会員構成では70歳から80歳までの会員が38.7%、次いで65歳から69歳までの会員が35.8%になっており、60歳から64歳までの会員は、3.8%で一番低くなっています。

会員の平均年齢は全体で71.4歳となっており、最高年齢の会員は男性で86歳、女性81歳でした。

### (1) 会員数

性別 \ 期間	年度当初	動 向		29年度末日	増 減
		入会	退会		
男	72	11	11	72	0
女	29	7	2	34	5
計	101	18	13	106	5

## (2) 会員構成

区分 性別	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 歳 以上	計	比率 (%)
男	3	25	29	10	5	72	67.9
女	1	13	12	6	2	34	32.1
計	4	38	41	16	7	106	100.0
比率 (%)	3.8	35.8	38.7	15.1	6.6	100.0	—

### 〈検証と課題〉

平成30年4月1日現在、熊野市の総人口は、17,187人（男性7,884人、女性9,303人）で、その内、60歳以上の人口は、8,545人（男性3,599人、女性4,946）、人口に占める割合は49.7%となっており、内会員数の割合は1.3%の状況であります。

シルバー人材センターの目的は、60歳以上の健康で就労意欲のある高齢者に就業の機会を提供することにより、生きがいの充実と社会参加の推進を図ることにあります。

会員数は横ばいの状況から今年度は5名の増加で、65歳定年延長や継続雇用等の制度が定着してきているものの、就労意欲を持つ高齢者の方が潜在していると思われます。

会員の拡大については、今後さらに具体的な入会活動等の在り方等について検討し、会員による「一人の会員が一人の新入会員を！！」を呼び掛けていくとともに、「シルバーだより」、市広報紙、新聞社などの媒体を通じて市民に啓発していく必要があります。

## 4 就業機会の提供実績及び開拓について

平成29年度の契約件数は、1,022件あり、その内訳は、公共23件、事業所及び家庭などの民間996件、派遣3件でした。このうち新規の請負件数は111件で、そのほとんどが個人からの草刈や剪定などの内容となっています。

前年度の契約件数と比較すると49件の増で、公共は3件の減、民間は50件、派遣2件の増でした。

会員の就業率につきましては、29年度は92.5%の実績を上げることができ、前年度より6.4ポイント上回りました。これは、全ての会員に就業の機会を提供できるよう取り組んできた結果と言えます。

契約金額においては、請負・委任及び派遣の総額は34,031,275円で昨年度と比較して845,377円の減となりました。これは、新規の受注契約件数が大幅に増加したものの、平成29年度は金山パイロットからの受注契約がなかったことが大きな要因です。

シルバー労働者派遣業務につきましては、平成29年度は新たに2件の派遣契約を締結

しました。しかしながら、一時的な派遣契約であったため、契約金額も少なく、安定した会員の就業に結び付けることができませんでした。

○平成29年度契約件数、契約金額等

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額(単位円)			
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	派 遣 (民 間)	合 計
4	67	61	488	732,073	1,287,048	119,163	2,138,284
5	87	74	562	700,794	1,752,477	106,344	2,559,615
6	108	82	694	1,295,650	2,239,933	118,160	3,653,743
7	149	83	697	1,075,990	2,456,468	78,105	3,610,563
8	101	84	611	1,080,526	1,975,539	0	3,056,065
9	122	85	721	903,809	2,535,646	124,068	3,563,523
10	96	88	626	1,083,686	1,874,334	121,114	3,079,134
11	132	91	755	961,469	2,698,674	422,808	4,082,951
12	93	93	589	691,951	2,266,832	76,804	3,035,587
1	24	95	394	910,122	918,927	100,436	1,929,485
2	18	97	399	515,846	1,238,269	112,252	1,866,367
3	25	98	378	583,808	801,254	70,896	1,455,958
合 計	1,022 (973)	—	6,914 (7,199)	10,535,724 (10,467,803)	22,045,401 (23,085,442)	1,450,150 (1,323,407)	34,031,275 (34,876,652)
差	49	—	△285	67,921	△1,040,041	126,743	△845,377

(注) ① 表中( )内は前年度実績

② 公共：民間：派遣＝30.96：64.78：4.26

〈検証と課題〉

当地域は民間からの契約件数が全体の97.5%を占め、草刈りや剪定などの請負業務が中心となっており、企業や事業所等への派遣が他市町と比べると非常に低い結果となっています。このことから、契約金額が大きく伸びない要因にもなっています。

市内においてシルバー人材センターを必要としている家庭や事業所などはまだまだ潜在していると思われることから、契約件数の増加内容等について検証を行い、受注拡大について模索していくとともに、事業所等を積極的に訪問し、地域社会に密着した就業機会の開拓と確保、拡大に役職員、会員、事務局が一丸となって努めていく必要があります。

5 安全・適正就業について

安全就業につきましてはセンターが受注した草刈作業及び剪定作業について、29年度から安全就業チェックリストの活用と請書(旧受注票)の確認による安全就業対策を講じ

てきましたが、就業中において重篤事故の発生がなかったものの3件の傷害事故と1件の賠償事故が発生しました。

適正就業については、適正就業基準を順守し、全ての会員に適正な就業の機会を提供できるよう努めました。

○適正就業委員及び安全就業委員

委員会名	委員長	副委員長	委員
適正就業委員会	喜田 裕一郎	今西 速男	松島 宏之
			高野 久喜
			松田 攻
安全就業委員会	山本 勝海	松田 攻	東 長生
			岡田 住夫
			山川 和男
			谷口 秀実

○傷害及び賠償事故発生状況

年度	傷害事故	賠償事故	合計
24年度	2	0	2
25年度	2	6	8
26年度	4	4	8
27年度	1	2	3
28年度	3	2	5
29年度	3	1	4

○平成29年度の事故状況報告

① 傷害事故

発生月	性別	仕事の内容	事故状況
7月	男	草刈作業	個人宅の草刈作業中に蜂に刺された。
8月	男	草刈作業	草刈作業中に飛び石が自身の右足甲に付近にあたり負傷した。
12月	男	剪定作業	植木の剪定作業中、ヘッジトリマーを使用中に左手小指を負傷した。

## ① 賠償事故

発生月	性別	仕事の内容	事故状況
7月	男	草刈作業	草刈作業中、飛び石等の防護ネットをして作業をしていたにもかかわらず、個人宅の玄関ガラスに飛び石があたり、ガラスを破損した。破損部分のガラスを取り換える。

### 〈検証と課題〉

安全な就業確保、適正な就業形態の確保は、シルバー人材センターにとって欠かすことのできない最重要課題でもあります。

会員が安全に就業することは基本的かつ重要な事項であり、発生した事故の原因を分析するなどして安全講習会を含め、徹底した安全対策を講じていかなければなりません。

今後も引き続きヘルメットの着用等安全面での指導を徹底し、会員一人一人の安全就業の確保に取り組んでいくとともに、安全就業委員会において安全対策マニュアルの作成と安全就業チェックリストの見直しを行い、会員に対して安全就業に対する意識付けの徹底を図る必要があります。

適正就業については、「適正就業基準に関する要綱」に基づき、就業時間の制限、就業モラルの確保など、引き続きより多くの会員に安全で公平な就業機会の提供に努めていく必要があります。

## 6 その他

(1) ボランティア活動については、シルバー事業の社会的意義を高めるとともに、会員相互の交流、シルバー人材センター事業の普及・啓発活動として設定された、「三重県シルバーの日」の奉仕活動と、「福祉の受け手から社会の担い手」を合言葉に展開している「福祉・家事援助サービス月間」に伴う奉仕活動を次のとおり計画いたしましたが、前者の活動は雨のため止む無く中止となりました。

月 日	活 動 目 的	活動場所及び内容	参加者
10月21日	「三重県シルバーの日」の普及・啓発促進月間中に奉仕活動を実施し、シルバー人材センターの社会的意義をアピール	世界遺産鬼ヶ城周辺の草刈、清掃奉仕活動を予定していたが雨のため中止	—
1月13日	「福祉・家事援助サービス月間」中に、福祉家事援助サービス事業を地域社会へアピール	紀和町板屋「ケアホーム熊南」の庭木の剪定・除草・清掃奉仕活動	29名



## (2) 高齢者活躍人材育成事業

三重県シルバー人材センター連合会の受託事業で、高齢者に人手不足分野等で就業する機会を円滑に提供できるようにすることを目的とした下記の「技能講習」を実施しました。

### ○剪定技能講習（講義・実技）

講習日 平成29年9月11日から9月14日までの4日間

会場 熊野市、紀宝町

受講者 19名（内、熊野市 11名）

### ○刈払機取扱講習（講義・実技）

講習日 平成29年12月5日

会場 御浜町

受講者 14名（内、熊野市 5名）

## (3) 「熊野市シルバーだより」の発行について

「シルバーだより」を年3回（6月・10月・1月）発行いたしました。内容は、平成28年度の決算状況、シルバー保険の概要、シルバーの日の啓発、会員拡大PR、福祉・家事援助サービス月間の取り組みなどを会員に周知するほか、会員の紹介等を掲載しました。引き続き、より充実した内容の「シルバーだより」の発行を目指してまいります。

## (4) 会員の福利厚生について

会員相互の親睦と連帯意識の高揚、福祉の増進を図るための会員互助会制度について未加入会員への周知と親睦会の活動について支援を行いました。

### ○会員親睦会「新年会」

日時 平成30年1月13日（土）午後6時から

場所 井戸町 みどりや

参加者 25名

### ○会員親睦会「花見」

日時 平成30年3月31日（土）午前10時から

場所 有馬町 山崎運動公園

参加者 30名